

パンチグループ長期ビジョン 「Vision60」

2025年5月23日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証スタンダード)

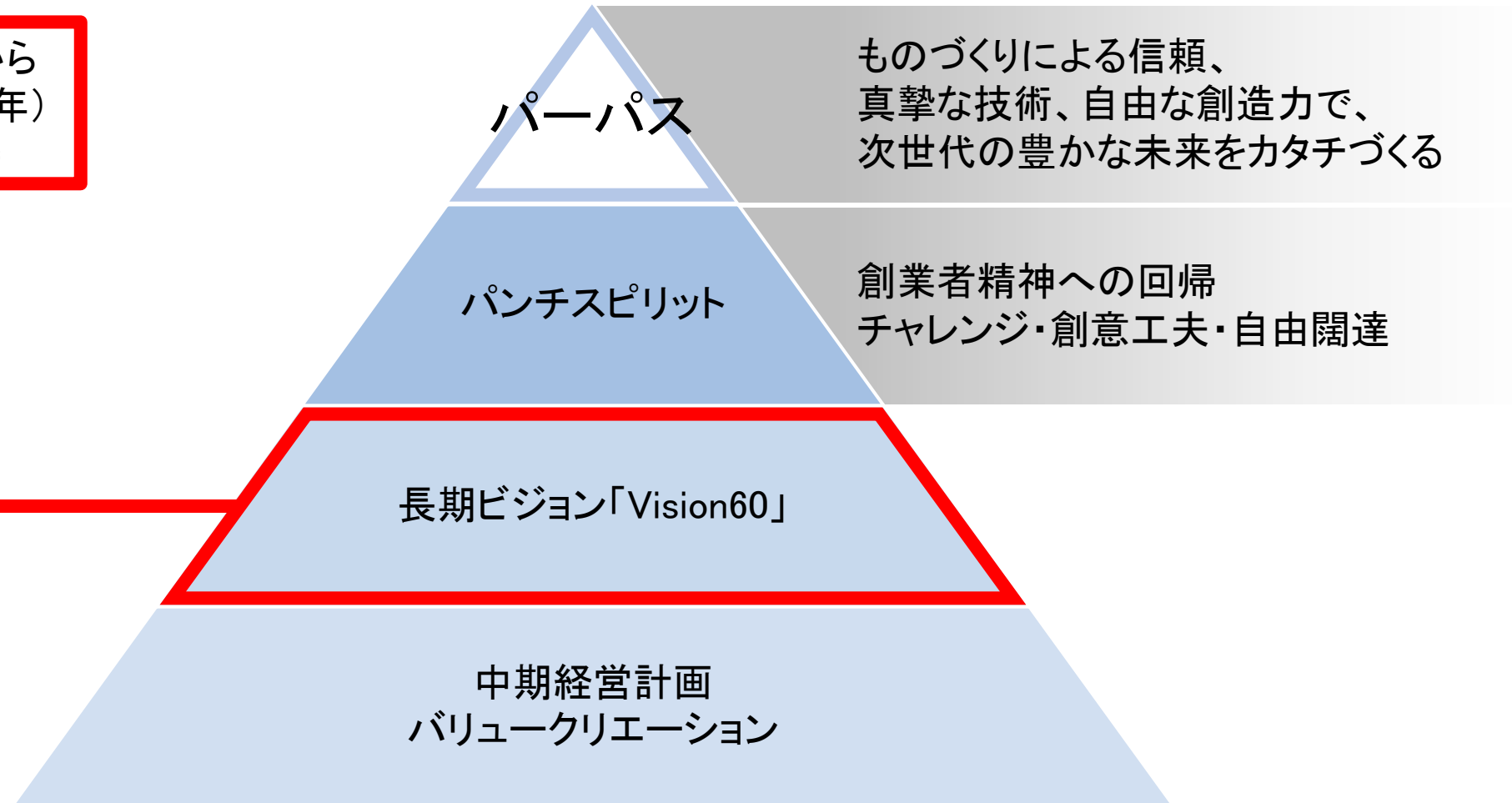


長期ビジョン「Vision60」

～脱・金型部品依存～

事業領域を拡大し、絶え間なく変化する社会の多様なニーズに貢献する企業グループを目指す

パーパスと未来予測から
導きだす10年後(60周年)
のパンチグループの姿



パンチグループが考える「未来予測」

足下の事業環境から10年後の未来予測とパンチグループの「ありたい姿」を想定

パンチグループを取り巻く環境

高スピードで
進む技術革新

- デジタル化、AIの進化により「社会」「ものづくり」変化
- 宇宙ビジネスが更に活発化
- メガキャスト、3Dプリンタ、デジタルツインなどが主流

労働人口減少
高齢化社会

国内市場の
成長鈍化

- 労働人口減少によるロボット化のスピードアップ
- 採用、賃金、労働環境などが大きく変化
- 定年延長等により働くシニア層が増加

国際社会情勢
の大きな変化

環境への世界
意識の高まり

- BRICS、グローバルサウスの更なる台頭
- 世界的な生産国、地域のシフト化
- 大量消費社会から循環型社会へと消費に変化

10年後に目指す姿

パンチグループのパーパス

ものづくりによる信頼、
真摯な技術、自由な創造力で、
次世代の豊かな未来をカタチづくる

【技術革新への対応】

- 高スピードで進む技術革新
- 「ものづくり」変化・複雑化

【高齢化、市場鈍化へ対応】

- 労働人口減少、高齢化社会
- 国内市場の成長鈍化

【社会情勢への対応】

- 国際社会情勢の大きな変化
- 環境への世界意識の高まり

FA事業及び新事業（金型部品以外）

■ チャレンジ

- 中規模企業のM&A

■ 創意工夫

- 既存事業にとらわれないR&D

■ 自由闊達

- 成功体験のグループ内連携

金型部品事業

■ チャレンジ

- 資本業務提携の効果最大化

■ 創意工夫

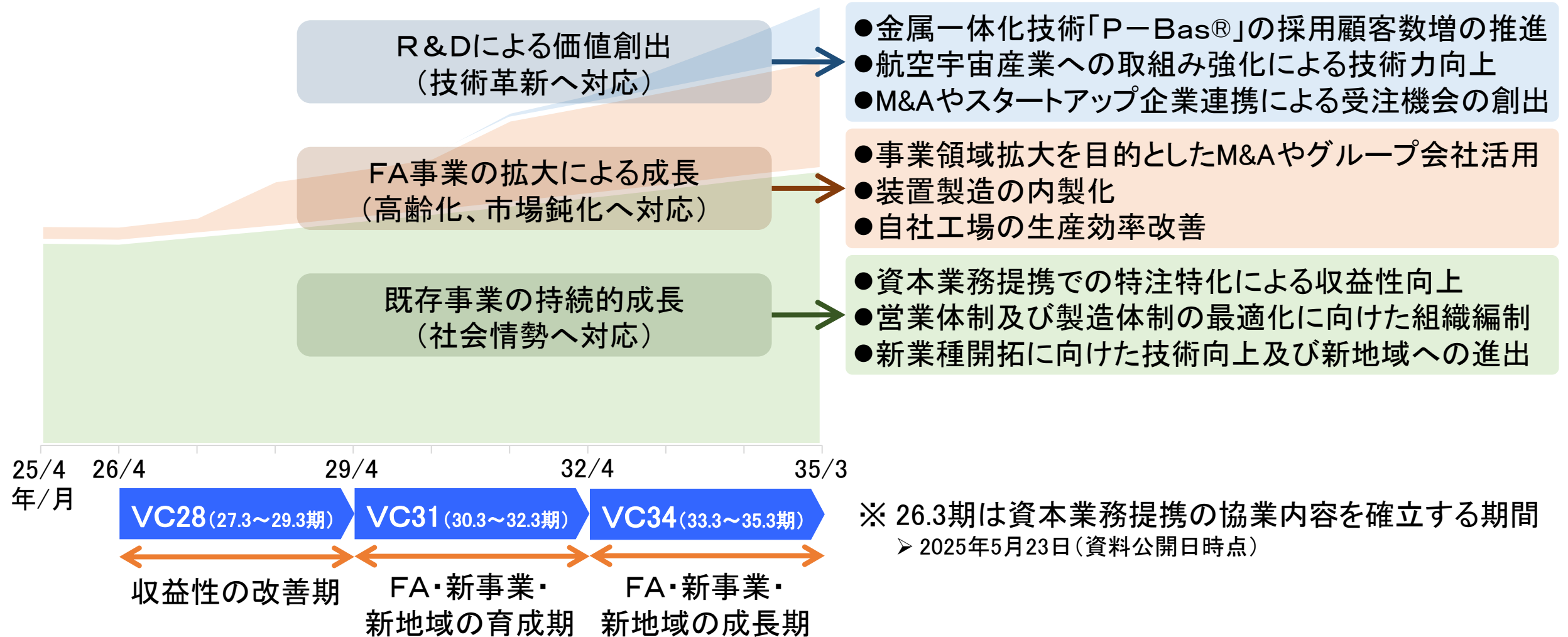
- 新業種・新地域の発掘

■ 自由闊達

- 営業と製造の取組み連携

「Vision60」で目指す事業規模

既存事業を基盤として社会の多様なニーズに適合した価値創出



金型市場の予想

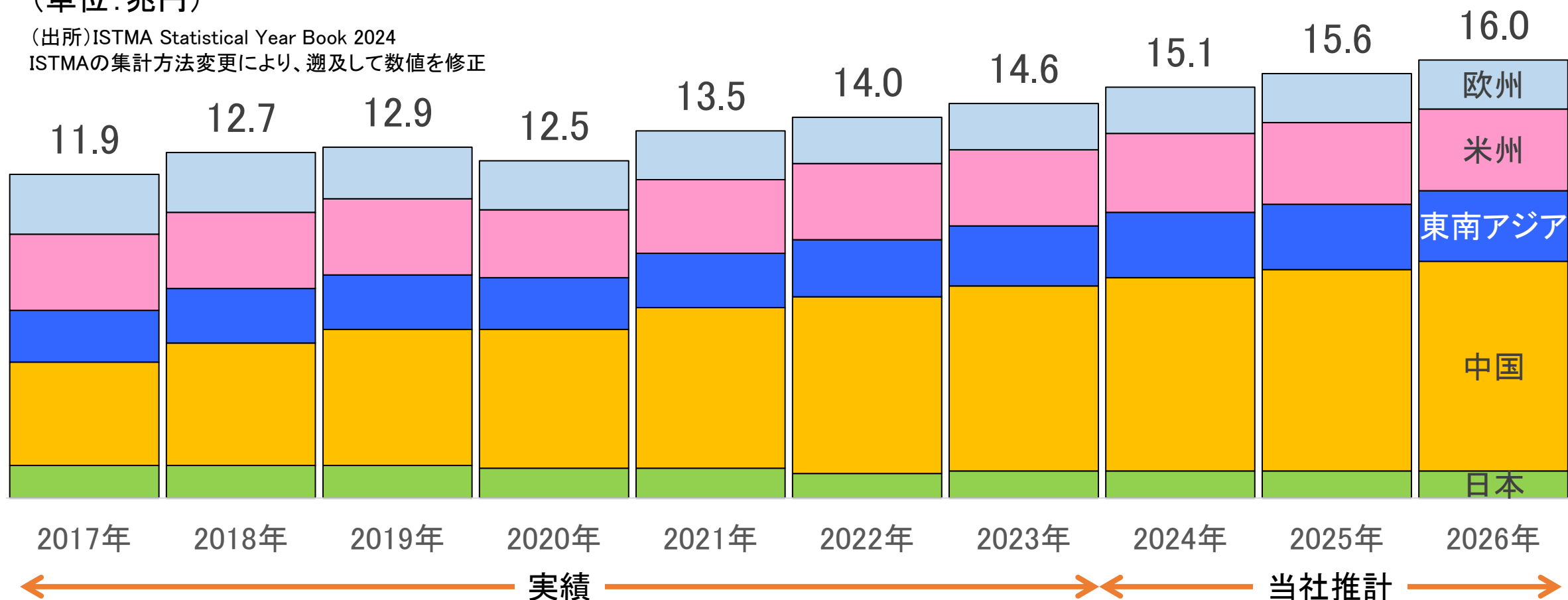
金型市場はCOVID-19等により一時的に減少したが安定成長を継続

■主要地域の金型出荷金額推移

(単位: 兆円)

(出所) ISTMA Statistical Year Book 2024

ISTMAの集計方法変更により、遡及して数値を修正



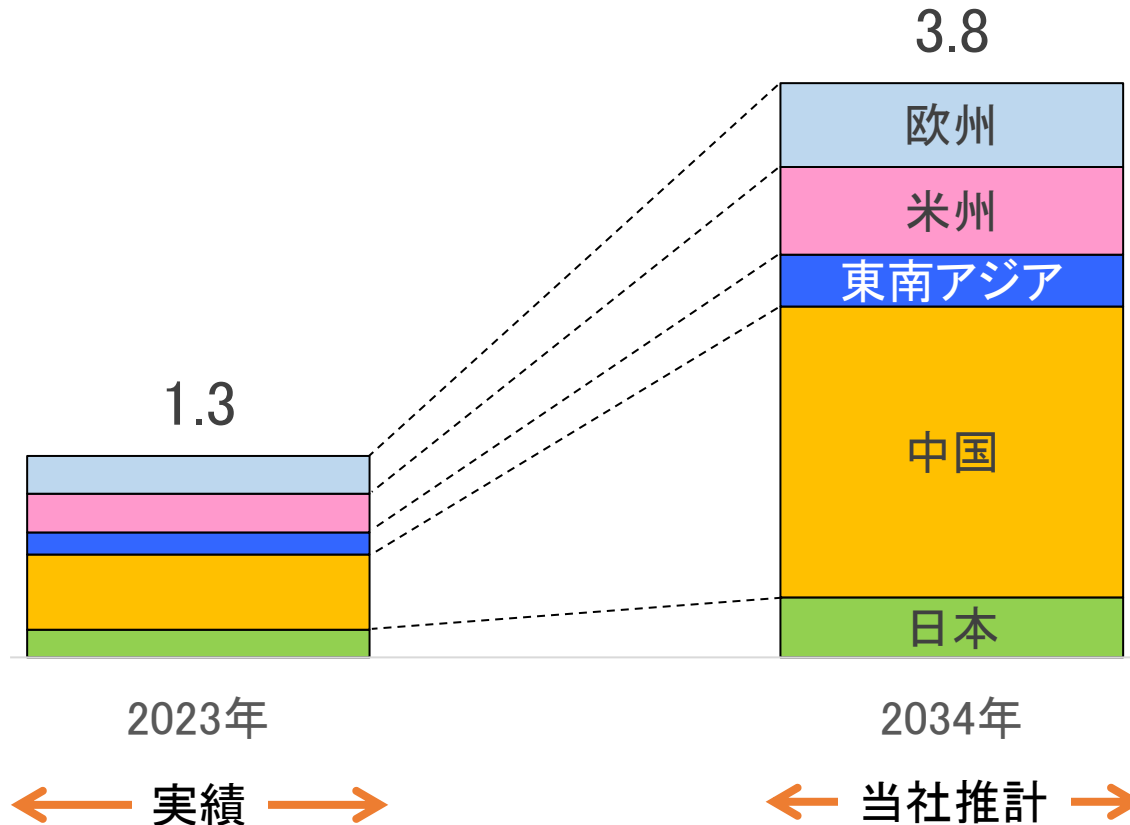
FA市場の予想

世界的なFAロボットに対する期待の高まりもあり、FA市場は成長基調

■主要地域の製造業向けロボット市場

(単位: 兆円)

(出所) 当社推計



【世界的なニーズ】

- EVや半導体関連の設備投資増
- 自動化ニーズの高まり
- 世界的な人件費の上昇や人手不足
- スマート工場に対する取組み活発化
- 熟練加工者の高齢化による品質の維持・向上

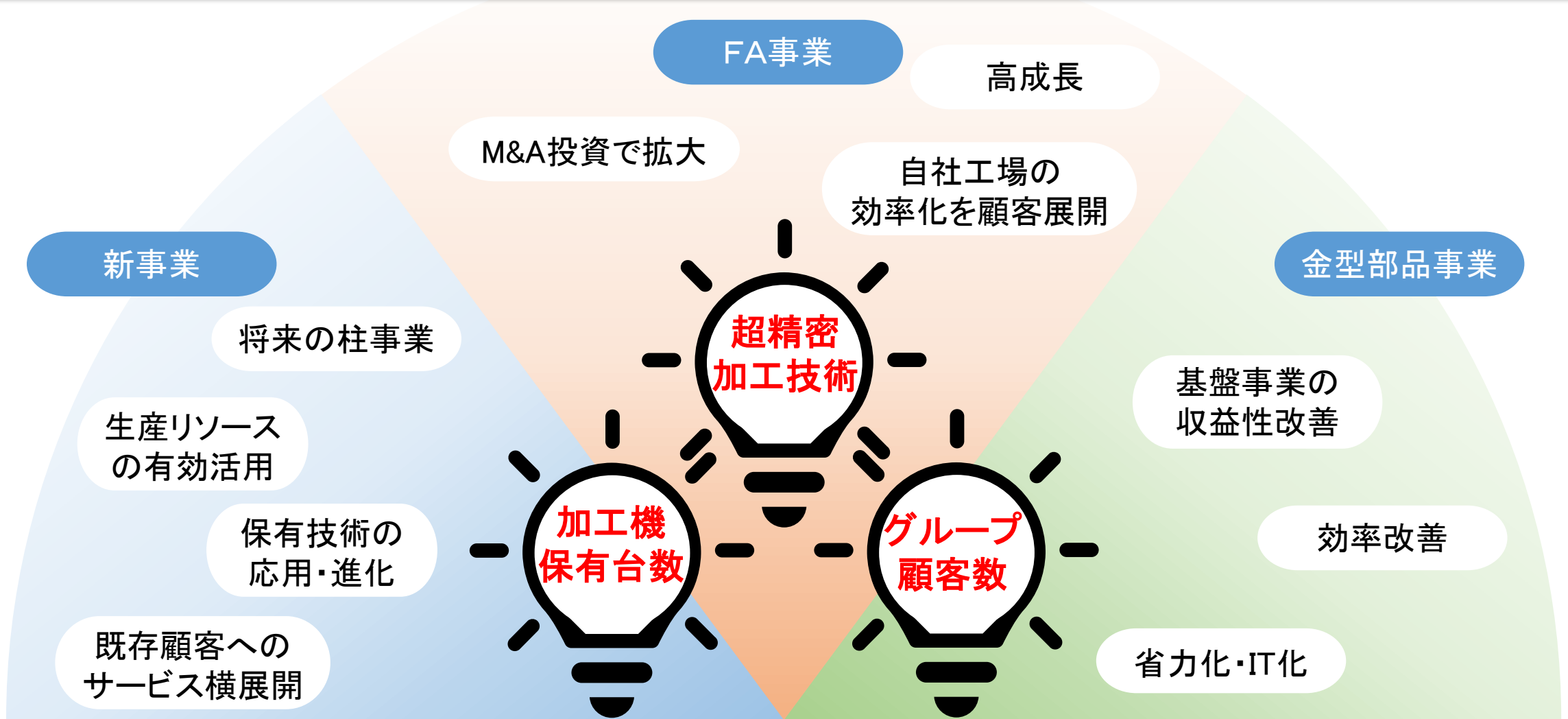
- FAロボットに対する期待の高まり
- スマート工場の推進企業増加
- ロボットの知能化により高度な作業も自動化



さらなるロボット市場の拡大期待

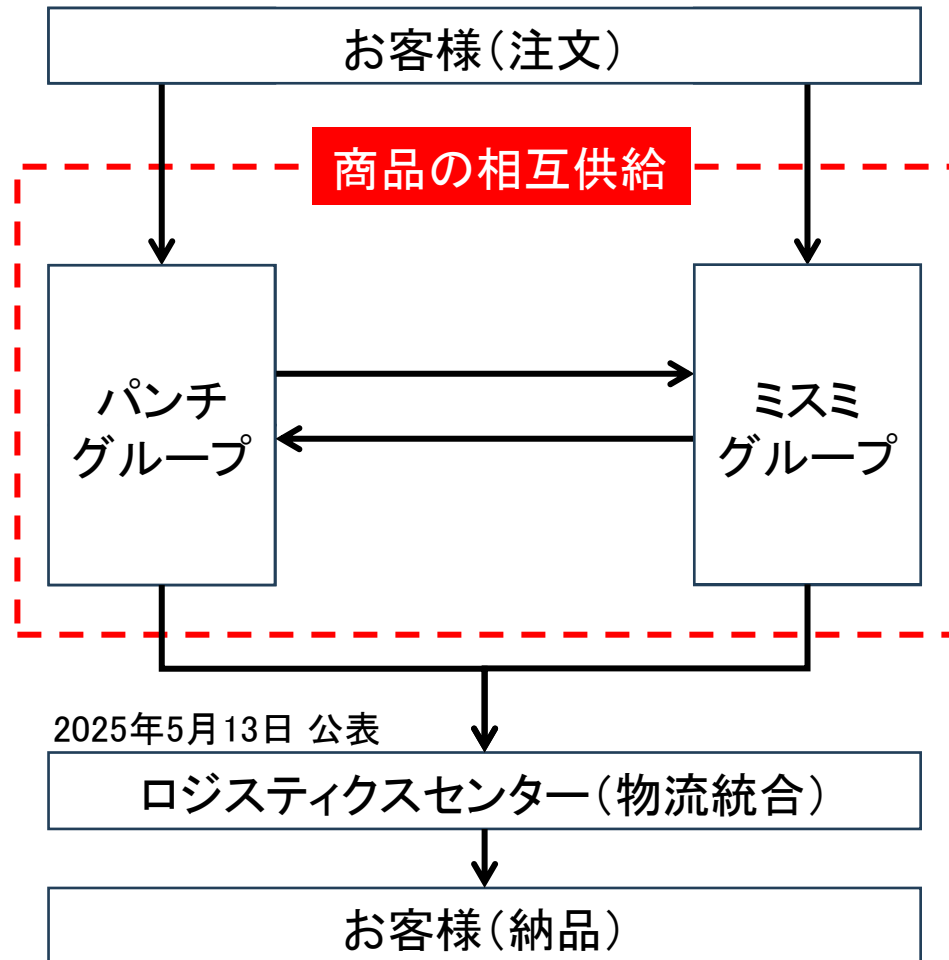
成長戦略の方向性

金型部品事業の堅実な実績＋社会の多様なニーズに貢献する成長力を確保



資本業務提携の効果最大化

パーパスの“ものづくりによる信頼”を構築するために特注品特化



2025年5月13日 公表

- 協業による両社の強みを活かしたシナジー実現を目指す
 - カタログ品、特注品の相互供給
 - 商品相互供給の効率化に向けて物流機能の統合を行い、ミスミグループのロジスティクスセンターを活用
 - 両社製造拠点の最大活用
 - 海外市場における協業策の具体化

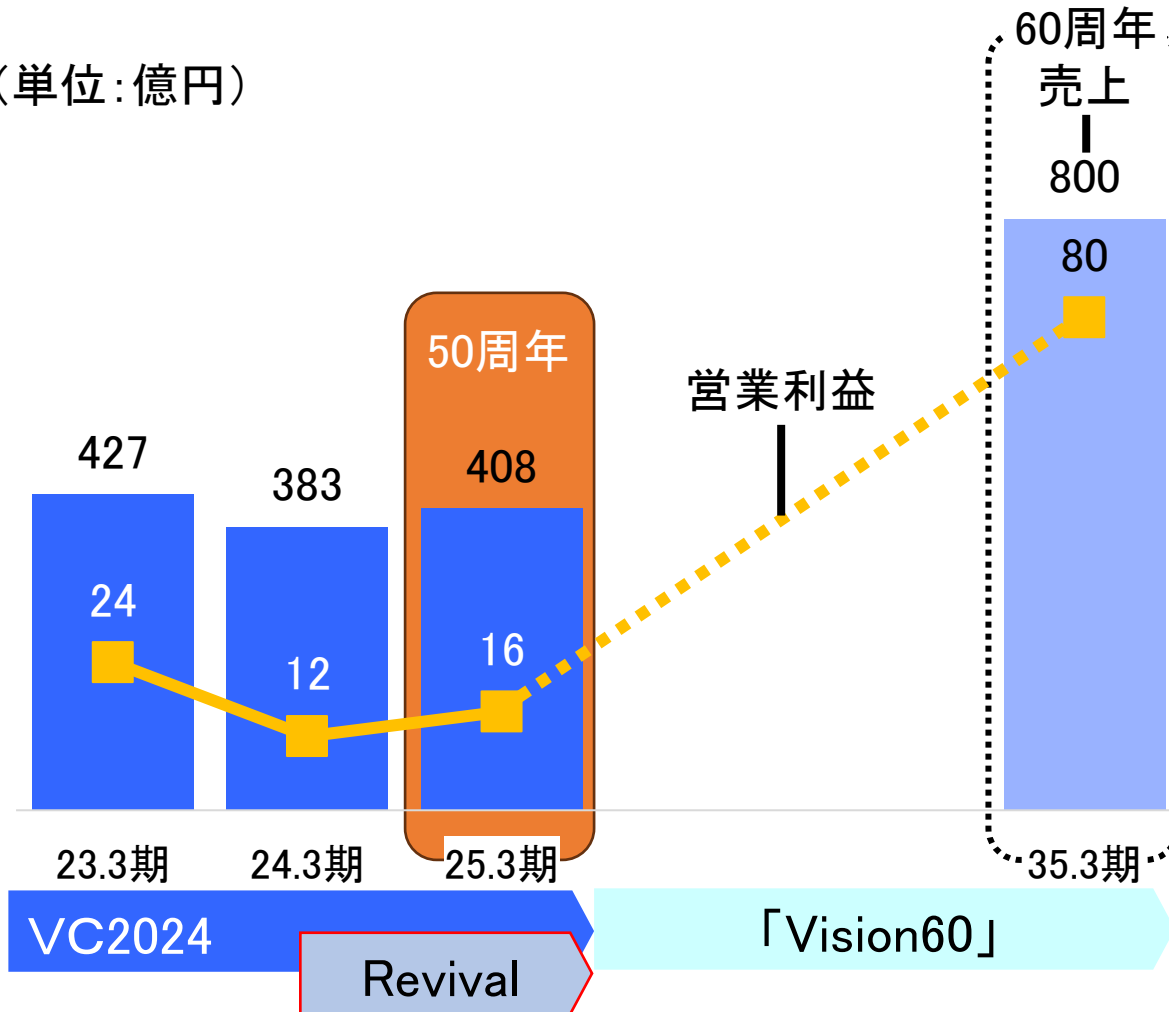
- パンチグループが対応すべき事項
 - 設備投資・人財育成含めた特注品の生産能力向上
 - 特注品取り込みのための営業強化
 - R&D強化により事業領域の拡大

◆ 「Vision60」に掲げた“社会の多様なニーズに貢献する”のために、資本業務提携による協業で販路を拡大

「Vision60」の経営数値目標

既存事業を基盤として社会の多様なニーズに適合した価値創出

(単位: 億円)



3つの中期経営計画を経て目指す経営数値

売上高

800億円

営業利益

80億円

営業利益率

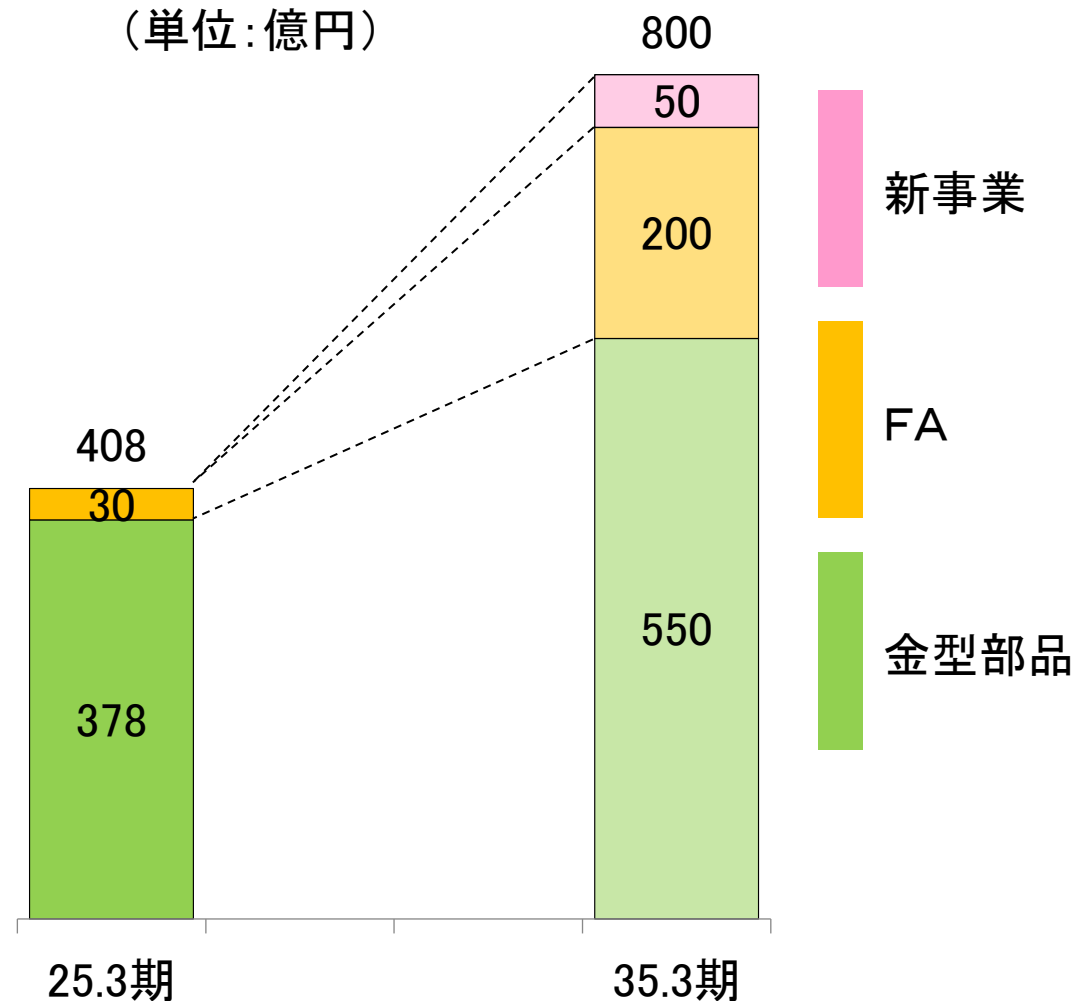
10%

目指す経営数値の実現に向けた取組み

- 既存事業の持続的成長
- FA事業の拡大による成長
- R&Dによる将来の柱事業となる新事業創出

事業別ポートフォリオのイメージと取組み内容

時代に求められる事業を探求し、事業領域の拡大を図る



新事業

- 取組み中のR&D案件の加速
- 積極的なM&Aによる事業の取り込み
- スタートアップ企業等との提携による新分野参入
- 社内ベンチャー制度導入等による開発取組み強化

FA事業

- 積極的なM&Aによる売上向上
- ターゲットを工場(ファクトリー)から他の分野へ拡大
- 継続的な営業活動
- 自動化・省力化需要による市場の伸び

金型部品事業

- 資本業務提携効果の最大化
- 継続的な営業活動
- 海外を中心とする市場の伸び
- 金型部品参入企業の減少

サステナビリティへの取り組み

5つのマテリアリティが「Vision60」終了時までには充足されている姿を目指す

1. 地球環境への配慮

全事業活動にて、CO2排出量削減、廃棄物排出量削減などに取り組み、環境に配慮した製品・サービスを提供し、地球環境を大切にする社会づくりに貢献

2. 人権の尊重

パンチグループ及び当社のサプライチェーンに関わる全ての人々の人権を尊重し、公正な社会の実現に寄与

3. 人的資本への取り組み

全社員が互いの多様性を認め合い、心身ともに安全、健康で生き生きと働き、能力を最大限発揮できる企業風土と職場環境をつくり、社員の幸せを追求

4. 「製品・サービス」を通じた社会への貢献

高度な技術力と品質により安心安全な製品・サービス提供を継続し、ブランド価値を高め、お客様に選ばれる企業として世界のものづくりをサポート

5. コーポレート・ガバナンス

より良いガバナンス体制を構築し、経営の公正性・透明性の確保と、高い資本効率の実現により、企業価値を向上

人的資本経営に関する取組み

人的資本経営の“ありたい姿”

多様な人財が自律的に活躍し、信頼とつながりに基づく職場文化の中で、企業価値最大化に貢献する組織

パーパス × パンチスピリット

【DE & I 推進】

多様な従業員が強みを発揮でき、働きがいのある組織を目指す

- 多様性が尊重される職場環境の整備
- 多様な働き方の対応
- 離職防止と定着支援
- 女性活躍推進
- 社内コミュニケーションの活性化

【ウェルビーイング】

従業員が安心・安全・健康に働くことのできる環境の提供

- 健康経営促進
- 職場環境整備
- (社員間)関係の質向上
- リスクアセスメント体制の強化
- エンゲージメント向上
- 従業員支援プログラムの整備

【人財開発】

自ら考え自発的に行動し、成果に繋げられる人財の育成

- 「人財育成ガイドブック」による各種研修
- 人財データの分析と活用
- 人事制度改定・見直し
- キャリア自律支援
- グローバル人財育成

※ DE & I 推進

- ダイバーシティ(多様性)・エクイティ(公平/公正性)・インクルージョン(包摂性)
- 多様な人財が共に働く組織において、個々のニーズに応じた対応を行うことで、それぞれがいきいきと活躍し、継続的に成果を発揮するための考え方

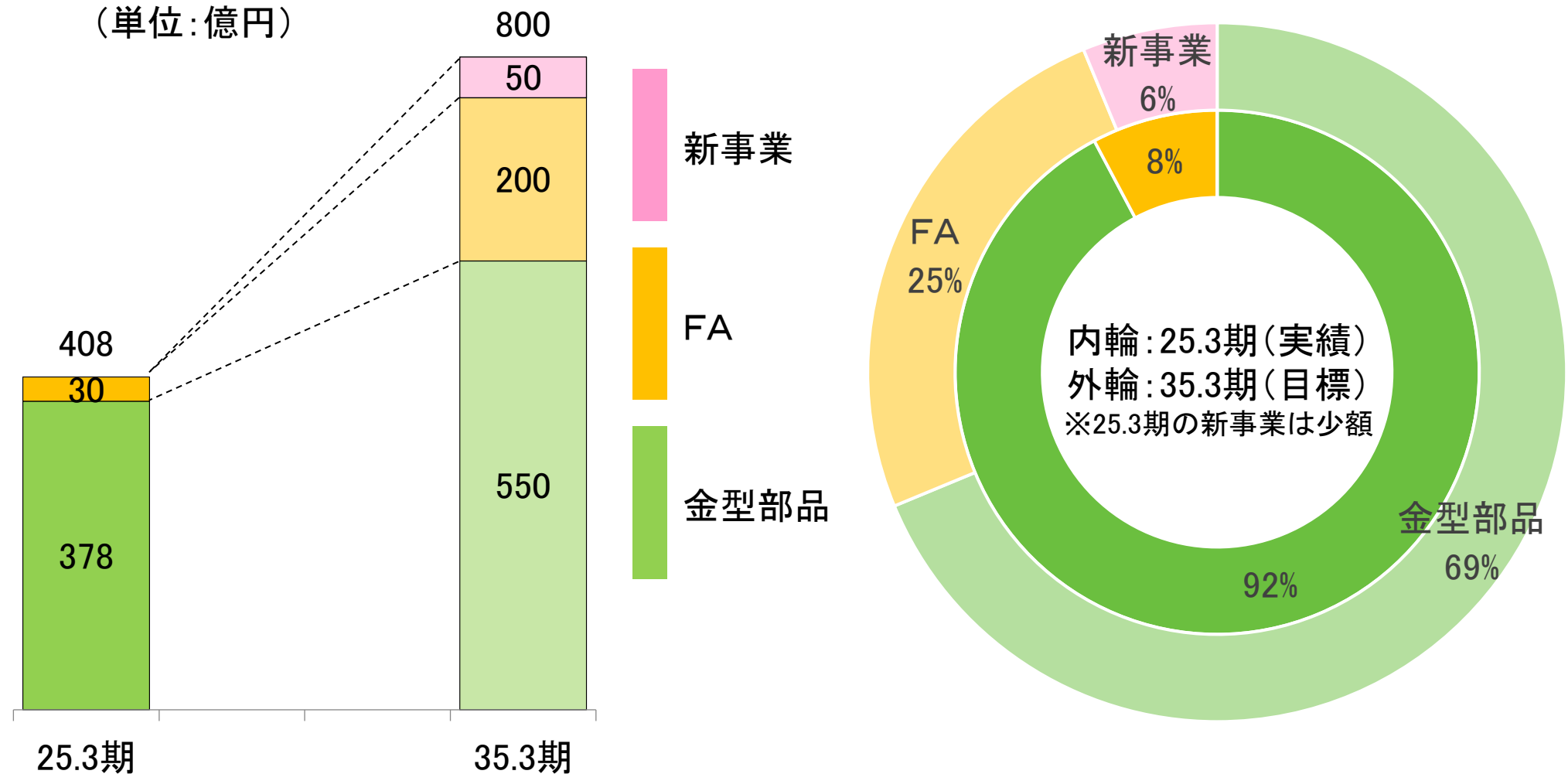


参考資料



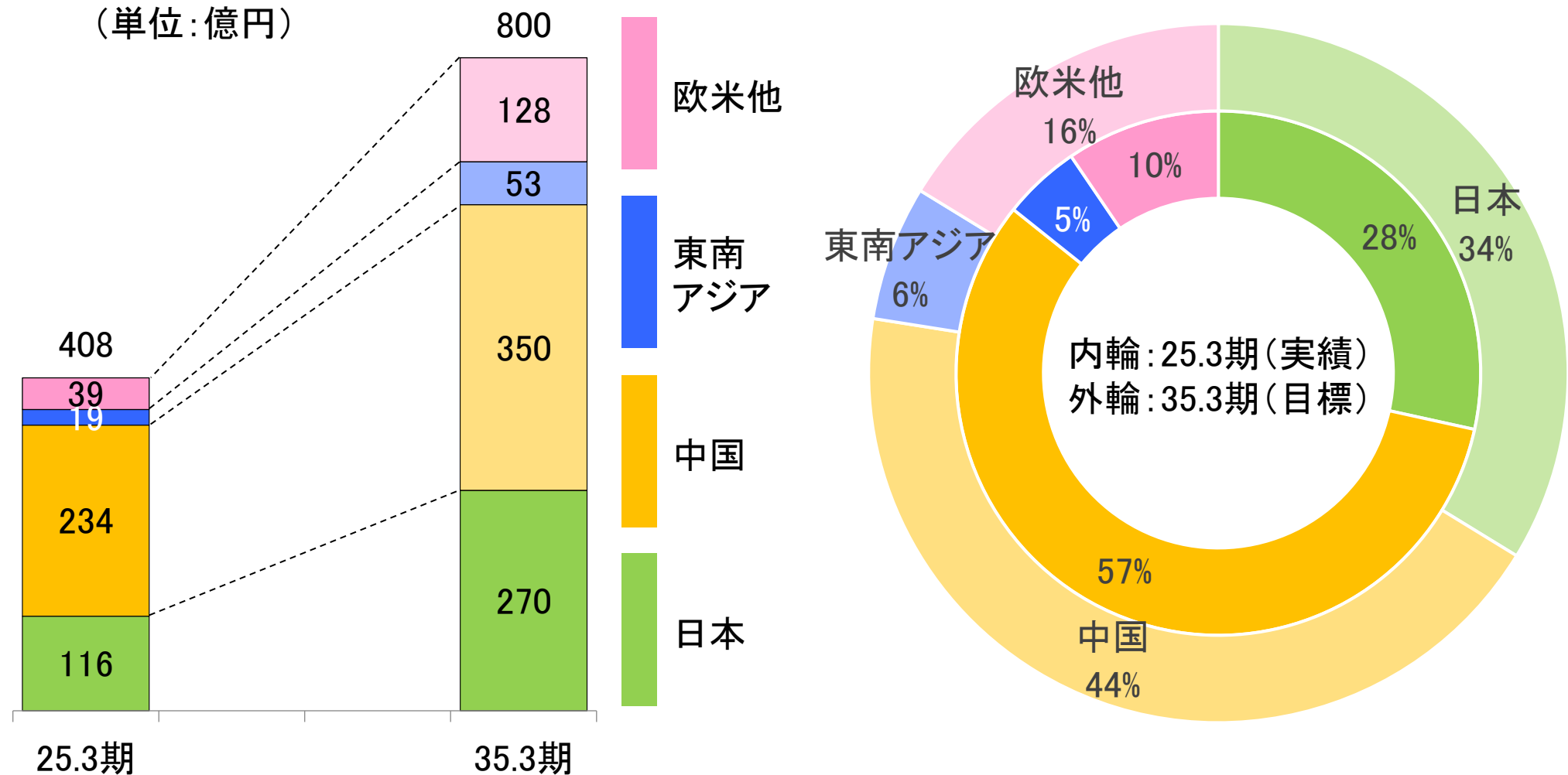
事業別ポートフォリオのイメージ

時代に求められる事業を探求し、事業領域の拡大を図る



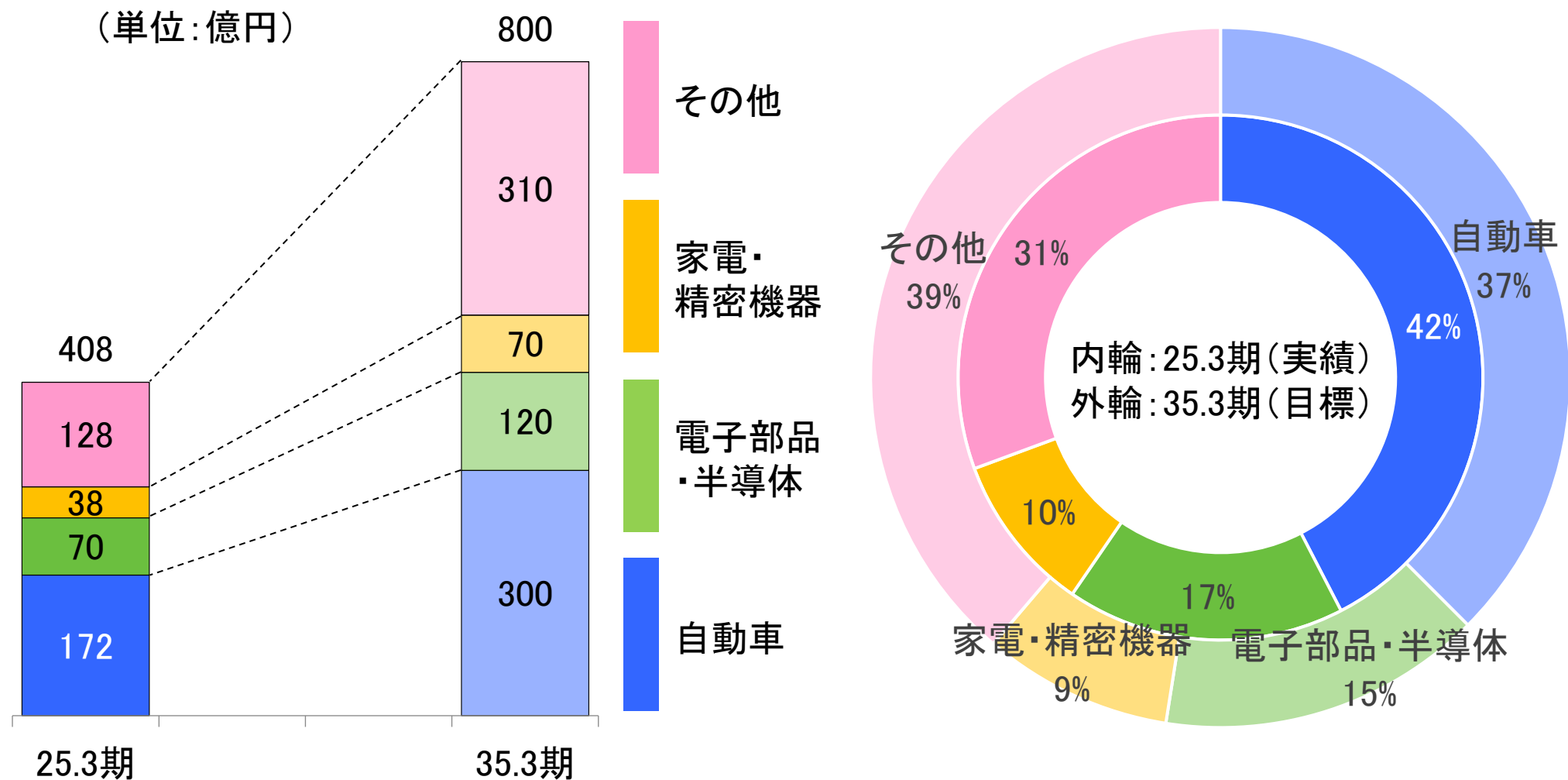
地域別ポートフォリオのイメージ

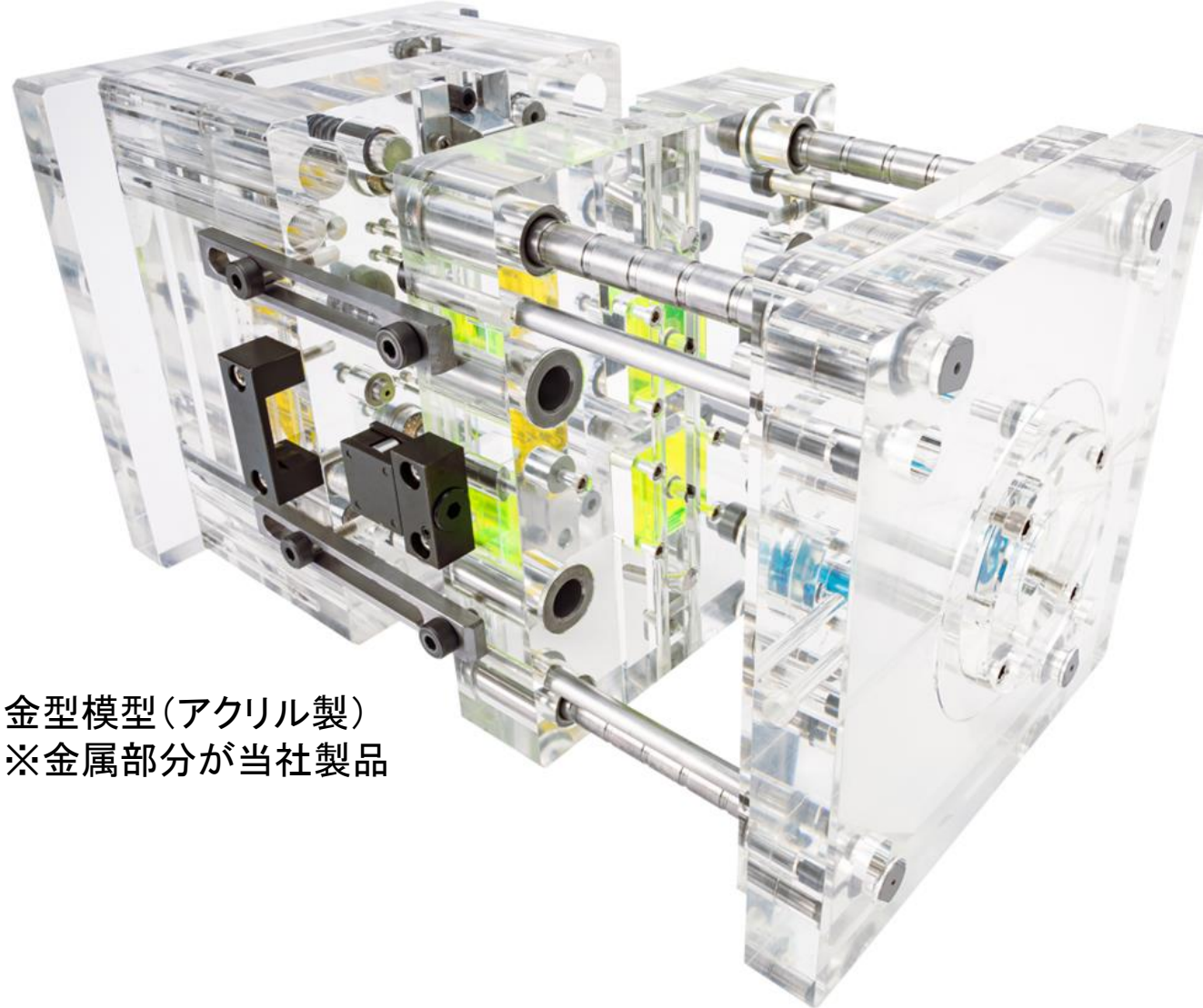
販売体制見直しと販売代理店との連携強化で日中以外の地域を拡大



業種別ポートフォリオのイメージ

事業領域拡大による新業種との取引拡大





金型模型(アクリル製)
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。